

はだの歴史博物館ニュース



Vol. 13 令和5年度 新春号

HADANO HISTORY MUSEUM NEWS

企画展

「お金のはなしあれやこれ」

－ お金をとおして見る秦野の歴史 －

令和6年度上半期の新紙幣改刷に向けて、そのデザインなどが発表され大きな話題となりました。また近年ではキャッシュレス決済の導入や仮想通貨の登場など、一口にお金といっても、その在り方には大きな変化が生じています。今回はお金の役割と変遷を改めて見直すとともに税や銀行、鉱山跡など市内のお金にまつわる歴史を史料や解説パネルにて紹介いたします。

日 程 令和6年1月13日(土)～3月17日(日)

時 間 午前9時～午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

場 所 はだの歴史博物館 第二企画展示室

展示内容

1. お金の役割と変遷について
2. お金をとおして見る秦野の歴史
3. これからのお金のはなし



市内出土の古銭
じんぐうかいほう
(神功開宝)



企画展

「戦争と人々の生活」

～戦いは、戦地だけではない～

昭和6年(1931年)から15年間にわたり続いた戦争では、戦場で多くの人命が失われただけでなく、直接戦場に赴くことのなかった銃後の人々にもさまざまな規制がかかりました。この時期秦野の人々はどのような生活をしてきたのかを振り返り改めて平和の尊さを認識するための展示を行います。

日 程 令和6年2月1日(木)～4月14日(日)

時 間 午前9時～午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

場 所 はだの歴史博物館 第一企画展示室

- 展示内容
1. 恐慌と満州への移民
 2. 戦果に沸く人々
 3. 戦費調達あの手この手
 4. 軍国教育と愛国精神
 5. 勤労奉仕と報国寮
 6. 配給と供出
 7. 英霊と遺族



「弾丸切手」発売広告



秦野高等女学校の勤労奉仕

戦争と秦野の人々の生活

平成3(1991)年の秦野駅南部土地区画整理事業に伴う太岳院遺跡発掘調査では、竪穴状の遺構が検出され、ビール瓶などと共に陶器製の水筒、おろし金、ミンチハンマーなどが出土しています。本来はすべてアルミなどの金属で作るべき製品です。これはいったい何なのでしょう。

昭和12(1937)年7月7日に日中戦争が始まると、翌年4月4日に政府は国家総動員法を公布します。これにより、金属や繊維製品、革製品は軍需優先となり、民間消費用の代用品が制作されるようになりました。

太岳院遺跡の出土遺物は、戦時中の陶製代用品だったのです。そして竪穴状の遺構は地下式の防空壕でした。終戦により不用になったので埋める際に家庭ごみが混入されたのでしょう。

戦時中は不要不急の金属回収も奨励され、隣組や国防婦人会を通じて家庭内の金属回収が始まりました。当初は任意でしたが、昭和16(1941)年7月に「金属類回収令」が出されると半強制的な回収となります。

戦争は一度始まるといつ終結するか予測がつかず、長引けば長引くほど急に軍費が必要になる局面が増えてきます。そこで増税だけでは対処できない場合に行われたのが戦時国債の発行でした。日本ではすでに日清戦争の際に国債が発行されていますが、昭和6(1931)年から昭和20(1945)年まで続いた「十五年戦争」では、安易に戦時国債が乱発されました。

昭和17(1942)年6月に郵便局で発売された「戦時郵便貯金切手」は、切手という名称ですが「割増金付き郵便貯金の債券」でした。戦費となることや、よく当たるという含みから「弾丸切手」の愛称で広く宣伝されました。額面は2円で、隣組などで半ば強制的に購入させられたといえます。

戦争終結後、人びとが「貯蓄」のつもりで購入した戦時国債は、極度のインフレにより紙くず同然となりました。

そして何よりも人々に多大な影響を与えたのは「応召」により人手が奪われる事です。農家の働き手がいなくなるわけですから、奥さんは小さな子供を何人も抱えて農作業を行わなければなりません。そして戦争が激化すると、応召した兵士は「英霊」と呼ばれ、無言の帰国をするケースが多くなっていきました。骨壺には名前を書かれた紙が入っているだけだったとの話もよく聞かれます。

戦争は戦地だけの問題ではありません。多くの人々の幸せを奪う戦争の恐ろしさと、平和の尊さを改めて再認識していただければと思います。

(はだの歴史博物館 大倉 潤)

令和5年度 第5回
「ミュージアムさくら塾」 開催のお知らせ

令和5年度 第4回目のミュージアムさくら塾を開催します。

テーマ：「お札の肖像とその変遷」

お札の肖像の変遷やお札の製造工程 製造技術の歴史について紹介します。
また偽造防止技術も実際に体験していただきます。

日 時 令和6年2月3日(土) 午前10時～正午

場 所 はだの歴史博物館 第一企画展示室

申込み はだの歴史博物館に電話で事前予約

(1月4日受付開始 博物館電話 0463-87-5542)

参加費 200円

偽造防止技術体験用として千円札を一枚お持ちください

講 師 独立行政法人 国立印刷局

お金と切手の博物館

学芸員 土井侑里子 氏

<はだの歴史博物館へのアクセス>

☆小田急線渋沢駅北口より徒歩20分

〃 バス秦54 秦野駅行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分

〃 バス秦12 秦野駅行「古墳公園前」下車徒歩3分

〃 バス渋05 高砂車庫前行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分

☆小田急線秦野駅北口より

〃 バス秦54 渋沢駅北口行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分

〃 バス秦12 渋沢駅北口行「古墳公園前」下車徒歩3分

☆入館無料 開館時間午前9時～午後5時 駐車場有

(月曜と祝日の翌平日・年末年始は休館) (入館は午後4:30まで)

はだの歴史博物館ニュース Vol. 13 令和5年度 新春号

発行日 令和6年1月17日

編集発行 はだの歴史博物館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3

TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794

ホームページ：[はだの歴史博物館](#)

検索

